

旅路へ

かがやく星が 瞬くまみに消えた
星のしじまに 顔出す月のささめきまで
耳を澄まして 心ひとつに聴いていれば
まだ気付かない 君の想いもきこえてくる

ほら 銀河列車に乗って
君を連れて行くよ
月明かりの街へ
吸い込まれてゆく

君の肩抱いて 迷わず進もう
光の示しゆく旅路を
二人の影 見つめてるのは
色濃く蒼い空だけ woo woo

散りばめられた 光の霧のように
煌めく街は 果てしなく広がっているね
風の隙間を馳せる夜鳥に語りかける
旅立ちはもう 遥か遠くに眺めるだけ

さあ 暗闇の中も
立ち止まらず行くよ
トンネルの先まで
続く未来へと

君と手を取って 真っ直ぐ目指そう
汽笛が指し示す 標を
君への言葉 聴いているのは
色濃く蒼い空だけ woo woo